

議事録

第三回 令和4年度 学校運営協議会（発信者ごとの要点記録）

日時：令和4年9月13日（火）14時30分～15時30分

場所：西東京市立田無第二中学校

出席：折田 和文委員（会長）、真鍋 五十鈴委員（副会長）、永井 昌史委員（OL）、
本間 孝子委員、三城 明子委員、勇 昇一委員（OL）、蕪尾 はるみ委員
矢野 尊久委員、南川 広幸委員

欠席：澤頭 千恵委員、
10名中9名の出席により本会議は成立

・事務局より

・校長挨拶

1学期末に取り組みについて説明したが、夏休みを挟んで9月は大きく変わっていない。

今までコロナ関係ですべてのイベントが中止となる中、3年振りの京都と奈良への修学旅行も雨にも合うこともなく実施できた。ウィズコロナ時代の中で環境的には空いていたと感じた。宿泊行事は無事に終ることができ、現地での感染もなかった。しかし、熱中症の疑いがある生徒もいた。

全体的に子どもたちは、ゆるやかなスタートを切っている。本校では、2学期のスタートに備えて、相談週間をもうけている。授業2時間行い、その後は個別に相談をしながらスタートした。

この長い夏休み中には命に係わるような大きな事故はなかった。

9月の中旬になった今、生徒たちもやっと学校生活のリズムが戻ってきたように感じる。各学年それぞれ懸命に取り組んでいる。次の行事は意見発表会でそれに向けて頑張っている。

先週には生徒会役員選挙があり、委員会活動の中心はだんだんと第2学年に移行していている。2学期も様々な行事がある。よろしく願いたい。

・協議会

・次第2 会長より

・次第3 会長挨拶

・次第4 第二回協議会議事録の確認後、承認。

会長：委員10名中3名の出席により本会議は成立というのはどうゆうことか。

校長：申し訳ありません。3名の欠席で7名も出席により本会議成立に訂正してください。

第二回協議会議事録、承認。

・次第5 学校評価途中結果報告

今年度の具体的なものについて資料を参考に説明する。全体的にはおよそ5ないし4の評価がついている。

主体的な学びの実現に関しては、教員に9月初旬にアンケートを取った。

グラフ1の回答は、ほぼ100%だった。成果目標については、最後にアンケートを取る予定である。

本校では「情報活用能力の育成」について研究をしていて、より良いものを選択し問題解決につながれると思う。それについて教員自身が指導しているかという内容の、アンケートを取った。

グラフ2の「情報活用能力の育成」。「あてはまるが8%」で残念だった。4を付けたが、最終的には子供の評価を見てみないと分からないので、それを参考にしてほしい。

グラフ3の「個別学最適化された学びと協働的な学びのバランスの良い推進」は、ほぼ100%の教師が実践している。次の学習指導要領ではこれがメインになると考えられる。

・次第3 一学期の学校状況の説明

- ・コロナ感染が心配だが学級閉鎖もなかったため、体育館で3年振りに対面で終業式を開催することができた。
- ・本校は比較的感染状況の拡大はなかった。
- ・道徳授業地区公開講座を開催することができた。
- ・現在のところ、特に問題ない状況と認識している。
- ・修学旅行は京都及び奈良方面で9月初旬に予定しているが、今後の国レベルでの行動制限により状況は変わる可能性を危惧している。

・会長：本校の部活動の地域移行はどうなっているのか。

学校長：部活動の地域移行を今後進めていく方針である。本校には13の部活がある。部活動指導員とは、教員の代行として指導をすべて行うことができ顧問会にも出席できる。地域協力者はあくまでも協力者であって、教員と共に指導を行い単独では行えない。部活動指導員は3名で、非常勤の公務員として給料や交通費が支給される。
現在、野球部員は4人だけで、廃部は適切ではないと考える。単独で存在しているのはひばり中と青嵐中だけ。硬式テニス部に専門の指導員がいることが望ましい。手芸部の顧問は家庭科の家庭科の講師がいるが、専門ではないので地域で特技をお持ちの方が指導してくれることに期待したい。

・会長：具体的には地域協力者はどうやって募集するのか。またどこが母体でやれるのか。

学校長：学校で校長が面接し役所から許可を得て採用する流れになる。適切な人をご存じならば紹介してほしい。

・会長：先生方の部活動における働き方改革について説明してほしい。

学校長：中学の場合は最終的に地域移行にしていくことが流れだと考えているが、具体的にはまだ決まっていないようだ。

土日休日の部活動に関して先に地域移行が進んでいる

副会長：保護者から意見はあるのか。

学校長：10人いれば10人の保護者のイメージがある。もっと活動してほしい人もいれば、土日毎週は多すぎるとかの意見があるので、この問題は中庸が難しい。

委員H：この件に関して、国がお金をかけてくれるのか。

会長：名古屋市では4億円計上している。そのくらいの予算計上がないと難しい。

・次第4 「学校応援団」としての地域協働活動への提案とご相談

・5月30日協議会内容について

学校長：地域の方のご協力のおかげで瞬く間に2つのことができた。ありがとうございました。今後お願いしたいメインは職業についての学習で、訪問先は近隣市内事業所24箇所必要です。

会長：商店街で2箇所だけ協力できると回答があった。まだ間に合いますか。

学校長：よろしく願い致します。

会長：依頼文を回します。興味があるという協力先がでるかもしれない。

学校長：今のところ、2店舗ということですね。

会長：FM西東京とはどうか。

委員：大丈夫だと思う。

学校長：ありがとうございます。

校舎内、または昇降口のペンキ塗りのためのゲストティーチャーとして、ペンキを塗る技術教えてもらう。学校の予算で材料を買い、技術室で指導してもらう。という取り組みも考えている。日程は、まだ未定。

10:52 委員退席

副会長：3学期でもいいのか。

学校長：はい。材料を安く仕入れて、技術指導をしてくれれば大丈夫です。

委員：幼稚園の父兄に塗装業の人がいる。

学校長：会長の候補を第一として、その候補が難しかったら次に委員Hの候補でお願いしたい。

委員：3学期は寒い乾燥しているので乾きやすい。

・不登校対策について

学校長：コロナのこともあり、現在保健室登校はさせていません。しかし、一時間程度勉強して帰宅はできないかと相談を受けることもある。そういった相談を受け入れるためにも、地域の方に10時～11時ぐらいに来ていただくとありがたい。

委員：部屋はあるのか。

学校長：相談室がある。5人程度なら入る。明保中学校ではそういう子どもたちの居場所づくりに有効的な対策を行っている。不登校の生徒の中にはスキップは行きづらいと言っている生徒もいる。

・谷戸まつりについて

会長：谷戸まつりありがとうございました。

委員：谷戸まつりでは中学生ボランティアが積極的にやってくれてすごかった。ありがとうございます。

・同窓会について

学校長：今年度、玄関の植えられるスペースに元々あった木の根っこをとって、桜を植

えてもらった。

副会長：同窓会は日常的な活動はしていないのか。

学校長：日常的な活動はしていない。愛校心についてかたってもらう活動は予定している。

次回の会議は9月13日（火）14時30分からを予定している。

詳細は改めて通知する。

会議録は、作成後に改めて確認していただき正式決定とする。

以上で第2回 西東京市立田無第二中学校運営協議会を終了する。